

修士論文（又は特定課題研究（学位論文））の評価基準

学生は、指導教員が明示した研究指導計画に基づいて研究方法及び内容を含む「研究指導計画書(様式8)」を作成し、指導教員了解のもと、各年度の4月末まで事務課（教育支援担当）に提出すること。

「修士論文（又は特定課題研究（学位論文）」（以下、修士論文という。）は、原則として別表に示す「経営学研究科修士論文の評価基準」に従って総合的に評価する。

【経営学研究科修士論文（又は特定課題研究（学位論文））の評価基準】

所定の単位の修得が見込まれることを修士論文提出の要件とする。

評価項目と基準			
1. テーマ設定 及び研究方法	40	テーマの適切性	テーマ設定が経営学の学術研究として位置づけられる。
		先行研究	当該分野の代表的な先行研究を把握し且つ理解している。
		研究方法	研究テーマにふさわしい研究の方法がとられている。
2. 内容の妥当性	40	専門性	現代経営学の知識・知見に基づいた考察がなされている。
		論理性	論理的に一貫した考察がなされている。
		客観性	公正で客観的な考察がなされている。
3. 形式等	20	体裁・書式	誤字、脱字、引用、参考文献等の体裁は適切になされている。
		研究倫理の遵守	研究対象者等への倫理的配慮が適切になされている。

※配点は100点満点とし、60点以上を合格とする。